

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 当院で施行された肥満減量手術（腹腔鏡下スリーブ状胃切除術）症例に対する気道確保方法の検討

[研究責任者] 麻酔科 伊藤秀和

[研究の背景]

近年、ビデオ喉頭鏡の普及により“意識下ファイバー挿管”の頻度は減少傾向です。“意識下ファイバー挿管”は患者さまの気管に呼吸の管を入れる方法の中で最も安全な方法とされていますが、施行回数の減少による教育の機会の喪失により、全国的に技術水準の維持が難しくなっています。

[研究の目的]

当院で 2016 年より開始された“病的肥満”に対する“腹腔鏡下スリーブ状胃切除術”ですが、麻酔科ではこの手術を受けられる患者さまに対して“意識下ファイバー挿管”で気管に呼吸の管を入れています。肥満患者さんは呼吸の管を入れるのが難しいからです。“腹腔鏡下スリーブ状胃切除術”が定期的に施行されることにより、当院の“意識下ファイバー挿管”の技術水準は全国的に見ても高いと考えられます。この研究では、当院での“意識下ファイバー挿管”の技術の高さを国内外の医学雑誌に報告することが目的です。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

病的肥満の患者さんで、西暦 2016 年 11 月 30 日から西暦 2019 年 3 月 31 日の間に腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を受けた方

●研究期間：西暦 2016 年 11 月 30 日から西暦 2019 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし

カルテ情報：年齢、性別、身体所見（身長、体重、BMI、生活習慣病に関する情報、頭頸部診察結果）、検査結果（血液検査、画像検査）など。

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

麻酔科 伊藤 秀和

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913